

予想外の日銀政策修正に動揺するマーケット

ポイント① 20日の日本金融市場は大荒れ

12月20日の日本の金融市場は大荒れの展開となりました。日本10年国債利回りは0.25%程度で推移していたものが0.40～0.45%程度に急上昇し、米ドル円レートは137円台から日本時間の18時頃に132円程度へ、その後の米国市場で一時130円台へ円高米ドル安が進行、そして、日経平均株価は取引時間終盤で26,400円程度まで一時800円ほど急落しました。

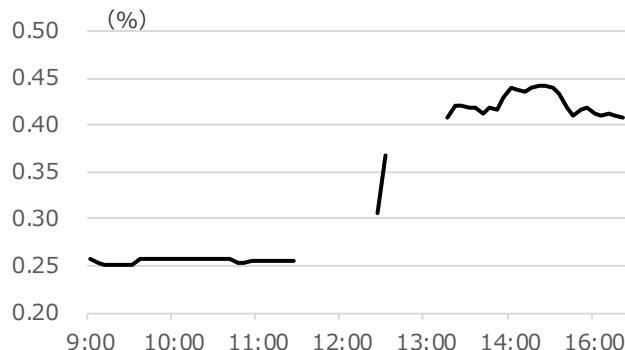
ポイント② 予想外の日銀金融政策の修正

きっかけは日銀による金融政策の修正発表でした。20日正午頃、日銀は19～20日に開催した金融政策決定会合において、大規模金融緩和を修正する方針を決め、従来±0.25%程度としてきた長期金利の変動許容幅を±0.5%程度に拡大するとしました。修正自体は政策の微調整でしたが、市場では今回の会合での修正は予想されておらず、サプライズとなったほか、次回以降の会合でも唐突な修正があるのではないかという疑念が浮上するなど、市場には動揺が走りました。

ポイント③ 今後のマーケットの行方

市場想定では、今回のような政策修正は次期総裁体制下で行なわれるという予想でしたので、それが前倒し決定となった20日のマーケットは大混乱となりました。但し、今回の修正がファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）に大きな影響を与えるとは考えにくいこと、PER（株価収益率）などから見た株価に割高感がないこと、日米金利差は依然として大きいことなどから、今回の株式や為替の変動は行き過ぎと考え、時間の経過とともに市場の動揺は収まっていくものと考えています。

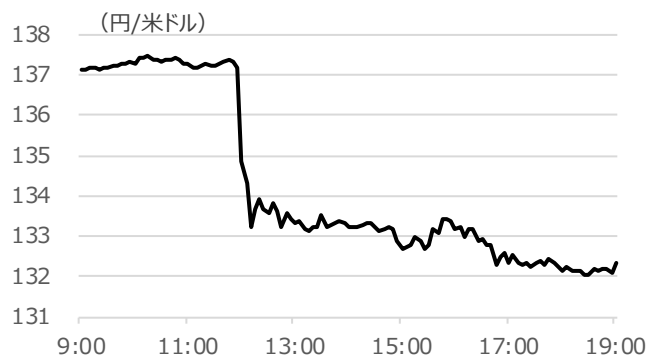
日本10年国債利回りの日中の推移



期間：2022年12月20日 9:00～16:20、5分足

（出所）ブルームバーグのデータより野村アセットマネジメント作成

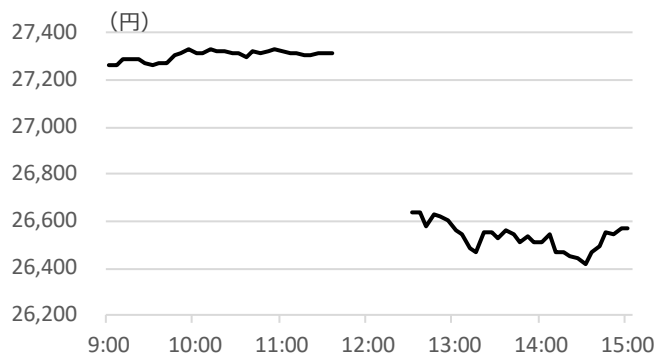
米ドル円レートの日中の推移



期間：2022年12月20日 9:00～19:00、5分足

（出所）ブルームバーグのデータより野村アセットマネジメント作成

日経平均株価の日中の推移



期間：2022年12月20日 9:00～15:00、5分足

（出所）ブルームバーグのデータより野村アセットマネジメント作成

重要イベント
12月23日 日本・消費者物価指数（11月）
12月28日 日本・鉱工業生産指数（11月）

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全体の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される場合があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。